

施策名：「知（地）の拠点」としての大学等との連携

事業名	担当課・室名	ページ
公立大学法人運営費交付金（芸術文化短期大学）	政策企画課	1 / 3
地方創生大学等連携プロジェクト支援事業	政策企画課	2 / 3
公立大学法人運営費交付金（看護科学大学）	医療政策課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	公立大学法人運営費交付金 (芸術文化短期大学)	事業期間	平成18年度～令和 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
			施策区分	「知(地)の拠点」としての大学等との連携		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	政策企画課	評価者	政策企画課長 磯田 健

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子化の中での学生確保に向け、特色あるカリキュラムの編成、生涯学習講座の充実、芸術文化ゾーンとの連携の強化や、機能充実のための施設整備など魅力ある大学づくりが課題となっている。	事業の目的	大学が中期計画を確実に実施できるよう、中期計画に沿った業務運営を行うに当たり必要とされる経費のうち、法人の自己収入である授業料等で賄うことのできない財源を交付する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①大分県立芸術文化短期大学の運営 運営費交付金の交付	①	443,485	総コスト	550,999	542,987	457,228
	②		事業費	545,999	537,987	452,228
	③		(うち一般財源)	545,999	537,987	452,228
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	443,485	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
活動指標	就職率(%)	目標値	90.0	90.0	90.0		100%		目標値						a
		実績値	96.8	97.3				実績値							
		達成率	107.6%	108.1%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	事業年度計画の進捗状況(点)(評価委員会による事業年度評価)	目標値	100	100	100		a	魅力あるカリキュラムの編成や、公開講座、地域巡回演奏会など地域貢献活動等に取り組んだ結果、多くの入学志願者を確保した。県内就職率は97.3%(前年比0.5ポイント)となった。評価委員会が年度計画の進行状況を大項目ごとに5段階評価したものを点数に換算し、各項目の評価点の合計により算出(S=25、A=20、B=15、C=10、D=5)。	
		実績値	105	105					
		達成率	105.0%	105.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 県立美術館の開館(平成27年)、県内各地でのアートプロジェクトの開催など、新たな芸術・文化の動きをとらえた教育研究活動の実施 大学が持つ芸術文化やICTなどの創造性を生かし、クリエイティブな分野へ挑戦する企業と連携 県が進める地方創生への取り組みに県立大学として積極的に貢献 機能充実のため、キャンパス整備を着実に実施 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 芸術系と人文系の学科の併設を生かした職業人の育成 県立美術館やリニューアル後のキャンパスを活用し、クリエイティビティを生かすことのできる産業と連携した教育機能の充実強化 地方創生に資する地域貢献 キャンパス整備の計画的な実施と、県、大学、施工業者の連携による施工中の安全管理の徹底 				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	地方創生大学等連携プロジェクト支援事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造			
	総合評価			事業実施課(室)名	政策企画課	施策区分	「知(地)の拠点」としての大学等との連携			
B		終了				評価者		政策企画課長 磯田 健		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地方から東京圏への転入超過は、大学入学時及び大学卒業・就職時に集中している。 地方の人口減少を克服していくためには、意欲と能力のある若者が地域において活躍できる場の創出等が課題となっている。	事業の目的	地方創生に向けた地域に貢献できる人材の育成や若者の地元定着を図るため、大学等が持つ研究開発や学生の活力を活用するなど、「知(地)の拠点」である県内大学(COC+参加大学/大分大学、県立看護科学大学、日本文理大学、別府大学)等と連携した取組を行う。 ※COC+ 大学が地方公共団体や企業等と協働して、地域が求める人材を養成するために必要な教育プログラムの開発等を実施する事業(文部科学省補助事業)
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①地域連携課題解決支援事業 学生が地域の生活文化、産品などの魅力に出会い、人々との交流を通じながら地域課題の解決に取り組むために、大学が実施する現場体験型プログラムを支援(19プログラムの実施)	①	2,800	総コスト	10,909	10,851	
②サテライトキャンパスおおいの支援事業 若手社会人等の知識・教養を深める場を提供するために、大学等が連携して実施する公開講座・講義の開催を支援(11プログラムの実施)	②	2,400	事業費	5,909	5,851	
③地方創生大学等連携プロジェクト報告会 ①②事業の実施内容について、県内大学等の教員・学生が参加する報告会を開催(開催平成31年1月29日 参加者250名)	③	515	(うち一般財源)	5,909	5,851	
	④		人件費	5,000	5,000	
	計	5,715	職員数(人)	0.50	0.50	

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	地域連携課題解決支援事業の参加学生数(人)	目標値	240	330		330		49%	九州・山口地域産業人材育成フォーラム開催(回)	目標値	1	1			
	実績値	373	584		584			実績値	1	1		1			
	達成率	155.4%	177.0%		177.0%			達成率	100.0%	100.0%		100.0%			
サテライトキャンパスおおいの支援事業参加者数(人)	目標値	240	330		330	42%		目標値							
	実績値	400	459		459			実績値							
	達成率	166.7%	139.1%		139.1%			達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果					
	COC+参加大学の県内就職率(%)	目標値	46.0	49.0		49.0		b	県内大学等と連携して地域課題の解決、魅力発見のためのプログラムを実施することにより、多くの学生や社会人に対して地域への関心を高めることができた。 なお、県内就職者数は前年度比2%減に留まったものの、全国的に新卒採用が好調であることから、県外就職者も多く、県内就職率は大幅に低下した。				
	実績値	46.1	40.9		40.9								
	達成率	100.2%	83.5%		83.5%								

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 18歳人口の減少が加速化する中での大学等への進学者の確保 学生による地域での実践活動が特定の地域に集中 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 県内全大学等が参加する「大学等による『おおいの創生』推進協議会」による県内大学等進学ガイドブック作成をはじめとした新たな進学者確保の取組の実施 学生による実践型地域活動の拡大、企業・団体と連携した大学教員による社会人向け教育の充実 				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	公立大学法人運営費交付金（看護科学大学）		事業期間	平成18年度～令和 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造		
	A			事業実施課（室）名	医療政策課		施策区分	「知（地）の拠点」としての大学等との連携	
総合評価	継続・見直し				評価者	医療政策課長 一丸 淳司			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	18歳人口の減少の中で学生の獲得競争が激化している。県立大学でも魅力ある大学に向けた取組が行われているが、今後さらに質の高い看護職員を養成し、県内医療機関への定着を促進することが課題となっている。	事業の目的	大学の運営に関する中期計画の確実な実施を求め、業務運営にかかる経費のうち、授業料等の自己収入では賄えない経費について、運営費交付金を交付する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①大分県立看護科学大学運営 運営費交付金の交付（平成30年度602,618千円） （看護科学大学の取組） ・教育研究の質の向上 看護師、保健師、助産師の養成、養護教諭課程の開設、特定行為看護師の養成 ・経営及び財政の適正化及び効率化 光熱費、委託管理費の削減	①	602,618	総コスト	603,664	612,618	605,184
	②		事業費	593,664	602,618	595,184
	③		(うち一般財源)	585,804	594,758	587,324
	④		人件費	10,000	10,000	10,000
	計		602,618	職員数(人)	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	看護学部卒業生の県内就職率(%)	目標値	50.0	50.0	50.0		70%		目標値						a
		実績値	45.1	49.2					実績値						
		達成率	90.2%	98.4%					達成率						
	看護師国家試験の合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0		30%		目標値						
		実績値	100.0	97.4					実績値						
		達成率	100.0%	97.4%					達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	事業年度計画の進捗状況(ポイント)	目標値	84	84	84		a	公立大学で初めて授業料減免枠の拡大に取り組み、優秀な学生の確保を行った。
		実績値	84	84				
		達成率	100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 第3期中期目標の達成に向けた取組 看護師国家試験の合格率向上 卒業生の県内定着率の向上 特定行為の看護師の診療報酬での評価 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 中期目標や大学へのニーズを踏まえた中継計画の実行 県内定着率の向上を図るための県内出身学生の確保 特定行為研修、NP教育の推進 				